

交通安全の推進を誓う 平成28年交通指導隊初点検

町交通指導隊(千葉慶信隊長)の平成28年初点検が1月12日、役場玄関前で行われました。
初点検には隊員10人が参加。隊員は装備品を提示し、青木町長や菊池有市一関警察署長の確認を受けました。
決意表明では、千葉隊長が「飲酒運転の撲滅、高齢者を事故から守ることを重点に活動し、より安全・安心な世界遺産の町を目指します」と誓い、交通安全の推進と交通事故のない町づくりに向け、気持ちを新たにしていました。



若水の中尊寺金色堂に奉納 磐井清水若水送り

元朝に一関市東山町松川の磐井清水でくんだ若水の中尊寺に届ける「磐井清水若水送り」(実行委員会主催)が1月1日に行われました。
参加者約180人は雪が降る厳しい寒さの中、一関市東山町から平泉町までの約20kmの道のりを約6時間かけて歩き、同寺の金色堂へ若水を奉納しました。
若水送りは、平成5年に平安時代の故事を基に再現行事を行って以来、新年の行事として毎年実施されています。



入賞の喜びを報告 県障がい者文化芸術祭

1月13日、第23回県障がい者文化芸術祭(県、県障がい者社会参加推進センター主催)応募作品の入賞者3人と町身体障害者協議会の岩淵英司会長、松好芳美副会長が役場を訪れ、青木町長に入賞を報告しました。
入賞したのは、文芸部門優秀賞の高橋昱子さん(15区)と絵画部門努力賞の佐々木秀子さん(2区)、書道部門努力賞の瀧澤勇男さん(15区)。3人は入賞を喜ぶとともに、今後の創作活動に意欲を示していました。現在入賞作品は役場町民ホールに展示されています。



新年の門出を祝う 平泉町新年交賀会

町、町議会、JAいわて平泉、平泉商工会が主催する「平泉町新年交賀会」が1月6日、平泉観光レストセンターで開催されました。
会には来賓や各団体の代表者、区長や町民ら約250人が出席。青木町長と佐々木町議会議長が主催者を代表してあいさつ、佐々木朋和県議会議員らが祝辞を寄せました。
参加者は新年のあいさつを交わしながら新しい年を祝うとともに、より一層の町勢発展を誓い合いました。

厄災消除、無病息災を祈願 毛越寺二十日夜祭

1月20日、毛越寺常行講の二十日夜祭が行われ、厄災消除、無病息災などが祈願されました。二十日夜祭は、一山の僧侶たちが常行堂で続けてきた祈とうが満願するのを祝って行われているものです。
平泉駅前から常行堂までの道のりを練り歩く献ぜん行列には、町内外6カ所の奉納宿から厄男や鬼子など約300人が集結。大寒の寒空に、太鼓やほら貝の音とともに厄男たちの勇ましい掛け声が響きわたりました。



1_毛越寺常行堂を目指す献ぜん行列一行/2_厳しい寒さの中厄男たちの勇ましい掛け声が響く/3_たいまつので厄を払う「鬼子登り」/4_厄男たちによる「蘇民袋」の争奪戦

多幸祈り一気に飲み干す 中尊寺金盃披き

恒例の中尊寺金盃披きが1月8日、中尊寺大広間で行われ、町内外から約150人が参加しました。
金盃披きは、中尊寺一山の僧侶が国家安泰などを祈り、元日から行ってきた修正会の結願を祝う行事で、毎年同日に開催されています。
僧侶が大(630ml)、中(450ml)、小(360ml)の金盃になみなと注いだ酒を参加者は一気に飲み干し、今年1年の幸福と五穀豊穡を祈りました。



平泉らしいおもてなしを考える 「ひらいずみ女性の集い」開催

「第9回ひらいずみ女性の集い」が1月9日、平泉文化遺産センターで開催されました。集いには会員ら約100人が参加。第1部では、つなぎ温泉四季亭専務取締役で盛岡商工会議所女性会顧問の林晶子さん(盛岡市)が「おもてなしの心」と題して講演しました。
また第2部では、世界遺産登録5周年の節目に当たり、「平泉らしいおもてなしとは」をテーマとしたパネルディスカッションを行い、今後の平泉について意見を交わしました。